

PANIGALE V4 ショートフェンダー 取付要領書

AELLA

この度はAELLA製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

AE-74021

本製品の取り付けには、必ず専門の知識・技術を持たれる方が作業に当たって下さい。

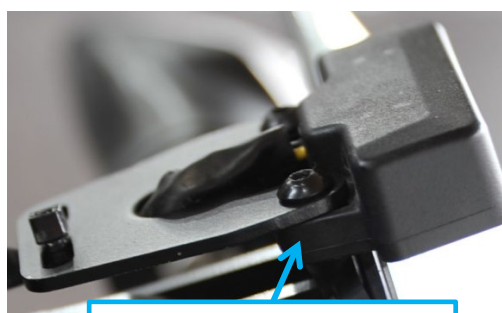
参考作業時間: 30min~1h



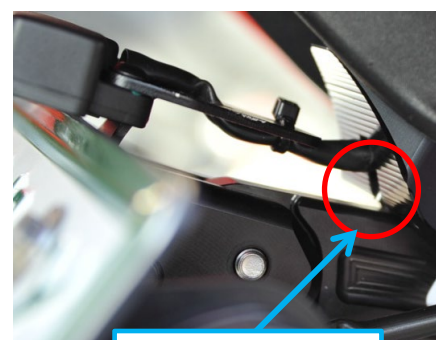
- ① 純正のナンバーホルダー、一式を取り外しコネクターから取り外して下さい。
- ② 上図の赤丸のボルトを外し、ウインカー・ナンバー灯・車体取付部のゴムダンパー×2、段付きスペーサー×4を取り外して下さい。※取り付けボルトも再使用します。



ウインカーカラー



ステーの下側へ取り付け



隙間

- ③ 画像と分解図を参考に取り外した部品を本製品に取り付けて下さい。
- ウインカーを取り付ける際、ゴムステー部の中の付け根の純正ボルトを取り外し 付属のウインカーカラーを挿入し、付属の六角穴付きボルトM5×35で取り付けて下さい。
 - ナンバー灯はステーの下側に純正ボルトを使用して取り付けて下さい。
 - 配線の取り回し後、タイラップで固定して下さい。※下図の赤丸4ヶ所
 - ⑧番のフックプレートは、ウインカー、ナンバー灯を取り付けた後に取り付けて下さい。 ※配線の隙間隠しにお好みで付属のブチルネリを詰めてご使用頂けます。
 - 取り外したゴムダンパーをはめ込み、段付きスペーサーで挟みこんで下さい。



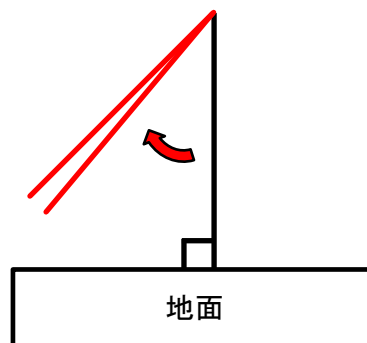
フックプレート



ゴムダンパー
段付きスペーサー



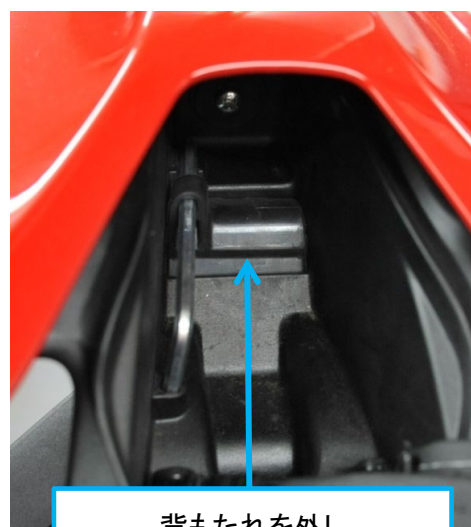
右穴：40度 左穴：45度



※ 2021年度10月1日より新基準適用により右穴：40度での使用が義務付けられます。



差し込み口



背もたれを外し
上から見た差し込み口

④ 差し込む箇所に注意し、純正ボルトにて取り付けて下さい。

※締め付けトルク：6Nm±10%

※ 差し込みがずれていたり、無理に押し込むとゴムが上側に抜けてしまいます。

⑤ 当社製のライセンスベースとナンバープレートを付属のフランジ付きボタンボルトM6×16で共締めして下さい。

⑥ 付属の角型リフレクターをプレートホルダーの中心に貼り付けて下さい。

※保安基準により中心(もしくは左右対称)に貼る事が義務付けられています。

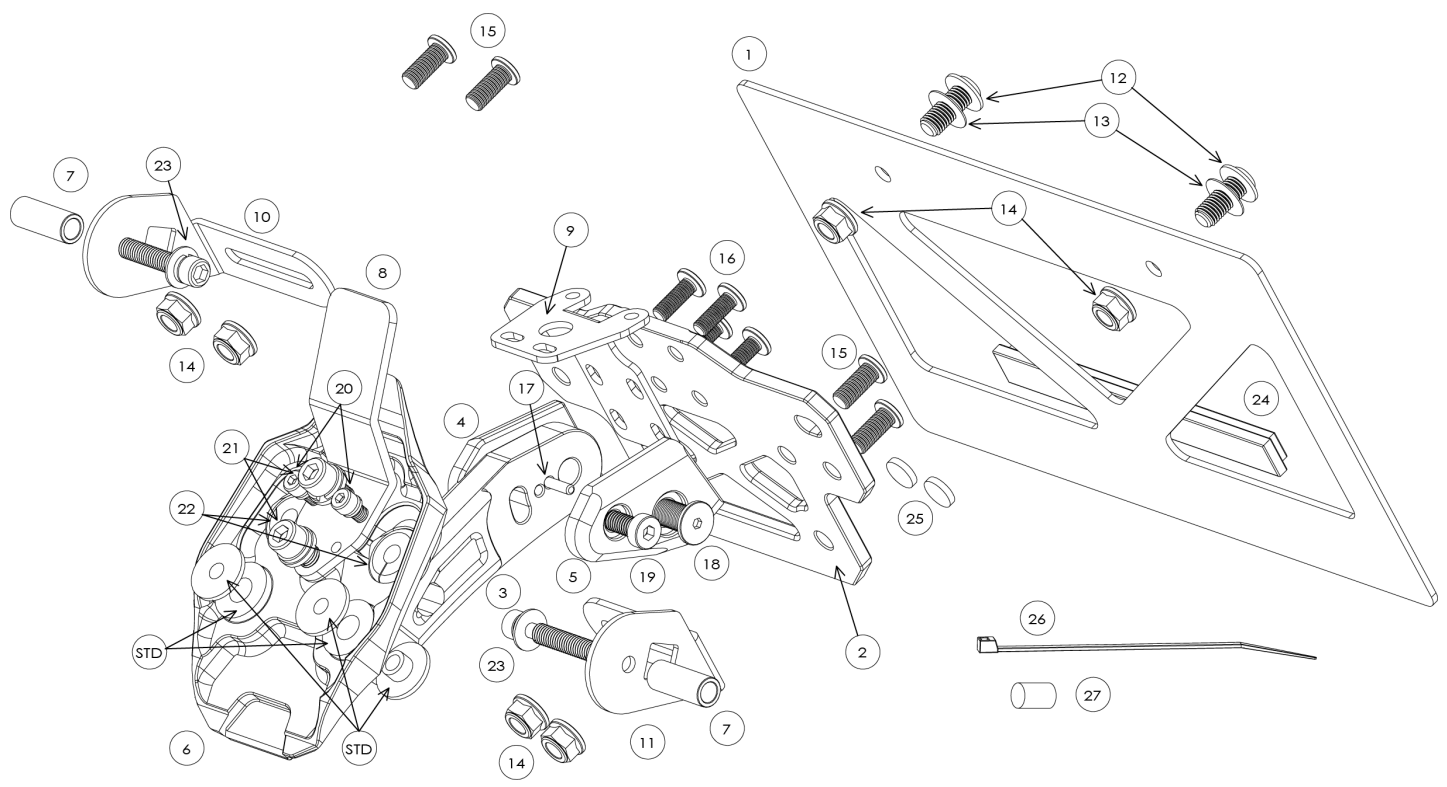


※ 初回走行後を含め、定期的にネジの緩み等を点検し、必要に応じて増し締めして下さい。

※ 純正のライセンスベース、リフレクターは使用出来ません。

※ 取付け時左右隙間に差が生じる場合がありますが、メーカー側のサブフレーム取付け公差によるものです。極端なずれがない限りそのまま取り付けていただいても問題ありません。

PANIGALE V4 ショートフェンダー パーツリスト



No.	パーツ名	数量	備考	No.	パーツ名	数量	備考
1	ナンバープレートホルダー	1		16	六角穴付き極低頭ボルトM5L14	4	※1
2	ホルダーベース	1		17	平行ピン φ3L20	1	
3	ベースアーム	1		18	六角穴付き極低頭ボルトM8L25	1	※1
4	可動プレート R	1		19	六角穴付き低頭ボルトM6L25	1	※1
5	可動プレート L	1		20	六角穴付きボルトM4L8(座金付き)	2	※1
6	ベースブロック	1		21	六角穴付きボルトM6L20(座金付き)	2	※2
7	ウインカーカラー φ9L22.5	2		22	グロメット	2	
8	フックプレート	1		23	六角穴付きボルトM5L35(座金付き)	2	
9	ナンバー灯ステー	1		24	角型リフレクター	1	
10	ウインカーステー R	1		25	防振クッション	2	
11	ウインカーステー L	1		26	結束バンド	4	
12	フランジ付きボタンボルトM6L16	2		27	プチルネリ(10mm)	1	
13	ナイロンワッシャー	2		STD	純正ゴムダンパー	2	
14	フランジ付きロックナット	6		STD	純正段付きスペーサー	4	
15	六角穴付き極低頭ボルトM6L14	4					

※1:ネジロック剤塗布(ロックタイト243、ビブラタイト121 中強度相当推奨)
※2:ネジロック剤塗布(ロックタイト263、ビブラタイト140 高強度相当推奨)
※3:部品番号⑧⑨⑩⑪はネジロック剤が付着すると塗装が剥がれますので注意して下さい。

アルマイト製品について

- ・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
- ・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。 また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
- ・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
- ・アルマイト厚みは、0.005mm～0.02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や乗車時にブーツが擦れる箇所で摩耗し下地のアルミ表面が現れます。
- ・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分(接点)には色が付かない場合があります。